

## ゴールはない

ある方の講演でこんな話を聞いたことがあります。甲子園で全国優勝をした高校の話です。(簡潔に言わせていただくと) 全国優勝を成し遂げた次の日の朝(前日までと変わらない感じで) 宿舎付近で素振り練習をする選手達の姿があったそうです(全国優勝という形で大会は終了したにもかかわらず)。それに対して記者の方が質問をしたところ「全国優勝で自分達の野球人生が終わったわけではないので・・・」という、練習の継続は当たり前という感じの答えが返ってきたそうです。

優勝翌日・・・満足感や達成感で・・・という感じになりそうですが・・・講演されていた方は、選手・指導者の素晴らしさ(こういう時こそ真の姿がでる)、「強いから」優勝するのではなく「ふさわしいから」優勝するのだという形で話を結んでいました。

こういう話を聞くと(特に若い人には)  
「ゴール」というのは必要ないのかもしれない。

私自身も(29年前になりますが) 県ベスト8を賭けた試合で1塁ベースに無謀なヘッドスライディング、左肩が相手1塁手の足に入ってしまい亜脱臼・・・勝利したものの、次の日の準々決勝は朝、病院で診てもらい試合直前にグランド入り・・・何が何だか分からない状態で試合が終わってしまい敗戦・・・高校野球のゴールにたどり着いたとは思えませんでした。でも・・・そこでゴールを感じなかったおかげでその後、25年以上も高校野球を続けさせていただくことになりました・・・

最後に保健の教科書(大修館書店)に書かれているサッカー・ジダン氏の言葉を載せます。

「試合があれば必ず勝者と敗者が決まります。ただ、本当の勝敗というのは試合の直後ではなく、その後の人生で決まるのではないのでしょうか」

3年生にとって区切りをつける大会になりますが・・・ゴールはもっと先です。忘れずに。

## サッカー・岡崎選手

サッカー素人の私が語ってはいけないことかもしれません・・・お許し下さい。

先日、岡崎選手がダイビングヘッドでゴールを決めたというニュースを観ました。そこに飛び込むか!という勇気ある素晴らしいプレーに(素人の私には) 見えました。

岡崎選手に注目をしているのには理由があります。彼は本来フォワード(点を取るポジション)ですが、彼が出場する試合は味方チームの失点が少ないという記事を読んだことがあるからです。岡崎選手の守備が良いという話ではなく、彼には(味方) チームメイト(守備陣)の力を引き出す力がある、という内容で書かれていたのです。

実は(競技関係なく)これが大事・・・

野球にもこういう選手が存在するのです(チーム内の他選手にプラスをもたらす選手)詳しくは書きませんが、市高野球部が結果を出している時にも似たようなことが・・・

そこに「気付く」指導者でありたいと思います。

## チームの輪を大切に



父母会からいただいた写真なんですけど・・・  
何だか面白いですね。